

わ

発行責任者

特定非営利活動法人

相模原市障害児者福祉団体連絡協議会
会長 鈴木秀美

相模原市中央区富士見 6-1-20 (あじさい会館内)

T E L & F A X 0 4 2 - 7 5 5 - 5 2 8 2 (直 通)

題 字「わ」 相模原市長 本村 賢太郎

さーくる 障害理解

検索

《鈴木れんきょう会長年頭挨拶》

「れんきょう」加盟団体会員の皆様、新年おめでとうございます。本年が皆様にとって良い年となりますように願っております。

昨年は 1 年遅れとなりましたが、東京オリンピック、パラリンピックが開催されました。多くの競技での日本人選手の活躍で大いに沸き上がりました。しかしながら、外国人観客の不参加や観客数の制限等、新型コロナウイルスにより大きな影響を受けました。

我々の活動もコロナ禍のもとで大きな制限を受けざるを得ませんでした。実際に集まっての会合が開催できずに、講演会、研修会はもちろんのこと、より少人数の理事会も開催できないこともありました。

世間では、実際の会合に替わり ZOOM 開催が多く実施されました。ZOOM 開催は自宅で参加できるため、また多くの人達が時間的制約もあまり受けずに参加できる長所が評価され、今後の働き方としても有意義な方法と考えられます。

最近はワクチン接種の普及による効果が表れ、新型コロナウイルスの感染状況も大分鎮静して来ましたが、マスク着用、手指の消毒、換気、ソーシャルディスタンスを保つ等の基本的な対策を継続する必要があります。

この鎮静化した状態が続き、以前のように会の活動が復活できるようになることを願います。その節には、会員皆様の積極的な参加を期待しております。

《令和 3 年度福祉施策懇談会開催のお知らせ》

恒例の福祉施策懇談会が以下の通り開催されます。懇談会に先立ち行った福祉施策等に関するアンケートで出席の回答をなされなかった団体でも結構ですので出席を希望する場合は NPO 法人れんきょう事務局にご連絡ください。

- ◆ 開催日時 令和 4 年 2 月 6 日 (日) 10 時～12 時
- ◆ 開催場所 けやき会館 2 階 職員研修所大研修室
- ◆ 懇談内容 先に行ったアンケート内容を中心としますがそれ以外についてでも結構です。
- ◆ 出席者 市 側 ⇒ 市長(予定)、健康福祉局長以下関係部署の課長等今回は本村市長のご出席を強く要請しています。
障がい者側 ⇒ 市内の障がい児者福祉団体の代表者等

《障害者週間キャンペーン報告》

ほかほかふれあいフェスタは「れんきょう」、「相模原ボランティア協会」、市内の各種のボランティアグループが中心となり、障がいとボランティア活動の意義の理解を深めるため、毎年秋、冬の2回開催されて来ました。

秋のイベントは残念ながら、台風の襲来、新型コロナウイルス拡大のためここ2年は中止となり、昨年についてもコロナ感染が続いているため中止となりました。秋の大規模なイベントは中止となりましたが、これに替わるイベントとして、一昨年は一部の参加団体による、日頃練習しているパフォーマンスや活動内容を披露する小規模なイベントを、あじさい会館ホールで関係者のみの参加のもと開催しました。そして昨年は、参加団体の活動を紹介するパネルやポスターをあじさい会館のロビーで1週間展示しました。

冬の障害者週間キャンペーンは関係者のご理解、ご協力を得て昨年も11月27日に例年通り相模大野駅北口サンデッキで開催されました。当日は好天にも恵まれたためか通行人の方も多く、出演団体の歌や音楽に耳をすまし、ダンスやよさこいの演舞に足を止め写真撮影をするなど盛況でした。

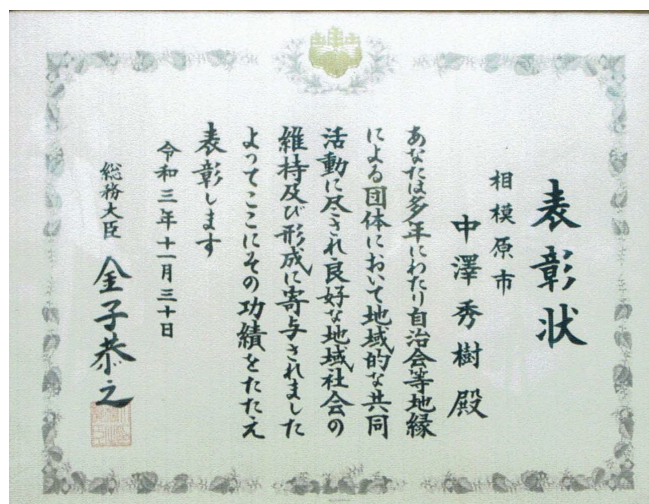
このイベントでは、障がいに関する理解を深めるためのチラシを配布しています。今回は500部用意しましたが短時間で配布し終わりました。

このイベントにご協力いただきました方々にお礼申し上げます。



相模原失語症友の会 ^{なか} ^{ざわ} ^{ひで} ^き **中澤秀樹さん** おめでとう

15年間自分の住む相南町3丁目で自治会長を務めて、熱心に任務を遂行し町民のために日夜尽くされて来ました。その功績がこの度認めれて見事総務大臣表彰を受けられました。



《相模原市自閉症児・者作品展》



令和3年11月26日（金）～28日（日）の3日間
小田急相模原駅のおださがプラザ ラクアル・オダサ
ガ4階で開催されました。本村市長もお見えになり、
作品の出展者と会話をされていました。

《新春ボウリング大会開催案内》

日時：令和4年2月12日（土）午前9：00～11：00

受付：午前8：10～8：40 2階 受付カウンター前

場所：相模原パークレーンズ（中央区相模原2-7-4）

JR 横浜線相模原駅南口より徒歩2分（042-755-1110）

参加費：400円

申込方法：各団体または作業所で取りまとめの上、FAXでお申し込みください。

申込締切：令和4年1月20日（木）（注意！！：締め切り後は受付しません。）

申込・問合せ先：認定NPO法人 相模原ボランティア協会

※新型コロナウイルスの感染状況等によっては中止させて頂く場合もありますのでご了承ください。（電話：FAX 042-759-7982）

《「さーくる」アクセス状況報告》

	R3年						
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
訪問回数（回）	2824	2644	1408	1208	1629	1646	1608
訪問人数（人）	2420	2227	1205	986	1348	1374	1344
見られたコンテンツ（件）	5402	6376	2825	2580	3840	3715	3626
初めて訪問する人の率（%）	82.6	80.2	79.6	75.7	78.0	78.7	77.7

最近は訪問回数等全ての項目で大きな変化はございません。

さーくる 障害理解

検索

相模原市車いす友の会の 懇親会

会長代理兼事務局 町田紘一

令和3年度車いす友の会の懇親会は11月20日あじさい会館展示室で開催されました。今回は、会のメンバーも持病の悪化で参加できない方もおり、コロナ禍の関係で寂しい状況の中、会員の古矢野さんの関係する障害者とダンスを楽しむ会のメンバー6名が加わり、20名で楽しい雰囲気の中実行できました。

役員会の報告から始まり、全員にマイクを回し近況報告、現在の困りごと、床ずれの事、手術の際の費用や用具の問題など、参考になる話が多く聞かれました。特に4年ぶりに参加された重度障害を持つ会員の付き添いの方は、“こんなうれしそうな顔を見たのは初めてです”と嬉しそうに話されていました。障害を持つ人は、普段同じ目線での話が出来ず、与えられた物や決められた日常を過ごしており、今回の懇親会で同じ目線で話が出来る事は、大変有意義であったと思います。

ビンゴゲームは会員からの寄付品（ゲームで獲得した縫いぐるみやバッグ類、商売上での景品や贈答品など）で全員3種類の品をビンゴの当選者順に頂くことが出来、楽しいゲームとなりました。写真の“おもしろビンゴゲーム”は古矢野さんの作ったものです。

最後にダンスの会の深沢さんの指導によりヨガ的簡単な体操をし、コロナ禍の関係でダンスは密接になるので中止。早目の解散となり、次回の再会を楽しみに笑顔での解散となりました。コロナが一日も早く収まり、自由に再会できることを願っております。



精神障がいを抱えた者の心の叫びに耳を傾けて ～「さがみハート展（詩と絵画のコラボレーション展）」～

相模原市精神障がい者仲間の会（あしたば会） 榛澤昌高

コロナ禍で開催が危ぶまれた「さがみハート展」でしたが、令和3年11月25日～29日、相模原市民ギャラリーで開催され、5日間延べ777名の方が来場されました。今回で13回目を数え、62点の詩と絵画が展示されました。途切れることなく今年も開催出来て本当に嬉しく思います！

「さがみハート展」というのは、精神障がいを抱えた方が書かれた詩をモチーフに、主に高齢者の絵の愛好家の方が絵を描かれ、詩と絵をセットにして一つの作品として展示するコラボレーション展です。毎年、心揺さぶられ、感動する作品にたくさん出会うことができます。

コロナ禍ということで、コロナに関する詩がいくつも見受けられました。また他にも様々なテーマの詩がありました。精神障がい者への差別をなくしたいと詠った詩。過去の記憶に苦しめられている気持ちを詠った詩。前向きに生きていこうという決意を詠った詩。自分へのいたわりやエールを詠った詩。周りの人への感謝の気持ちを詠った詩。亡くなった家族や愛しい恋人への想いを詠った詩など……。精神障がいを抱えた方が、暮らしの中で感じた想いを、ストレートな言葉で表現されており、そのまま心にストーンと入ってきました。人生というのは誰にとっても苦しいものなのかもしれませんが、精神障がいを抱えて生きるがゆえの苦しさもあります。反対に精神障がいを抱えながらも人との関わりから感じる幸せもあります。また夢や希望や生きる意味を見つけた時に感じる喜びもあります。これらを“作品たち”は気づかせてくれます。同じ精神障がい者として、彼らに共感・共鳴できる詩がたくさんありました。

詩に添えられた絵の方も、とても素晴らしく、巧みな技で描かれた絵。可愛らしい絵。素朴な絵。ユーモラスな絵。詩との相性が抜群な絵など……。おそらく他人が書かれた詩をモチーフに絵を描くのは、とても難しいことだと思います。ただ画家さん達は、詩をしっかりと読み込んで、丁寧に心を込めて描かれているのがよく分かりました。

詩だけではない、絵だけではない、詩と絵のコラボというスタイルが、鑑賞する者のイマジネーションを刺激し、より深く詩の世界に入り込めるように思います。また詩に込めた精神障がいを抱えた者の想い、それに応えた画家さんの想い、両者の想いが重なり合うことで、作品が奥行きのあるものになるようにも思います。“心を動かすのは心である”と言いますが、詩と絵、両方の作者が心を込めて“カク”からこそ、人の心を揺さぶるのではないかと思います！

「さがみハート展」の目的である「精神障がいを抱えた者のメッセージが多くの方に届くこと」、「精神障がいを抱えた者への理解が進むこと」、「精神障がいを抱えた者が多くの方と繋がること」を心から願っています！

「さがみハート展」は、開催するのに大変手間のかかるイベントです。またコロナ禍でもありましたが、途切れさせず開催させた関係の皆さまのご努力ご尽力に心から敬意を表します。

ホームページで全62の作品がご覧いただけます。「わ」の読者の皆さまにもご鑑賞いただき、精神障がいを抱えた者の心の叫びに耳を傾けていただけると嬉しいです！また全作品を載せた作品集もあります。500円で販売されています。お問い合わせは地域活動支援センターカミング [（042-759-5117）](tel:042-759-5117) と南障害者地域活動支援センター（みなみ風） [（042-701-3932）](tel:042-701-3932) の「さがみハート展」事務局まで。



《地域包括支援システムに思う》

相模原市精神保健福祉家族会みどり会 片岡加代子

令和5年度までを第一期として入院医療中心から地域生活中心という施策を強力に推進していこうという手段。ずい分前になりますが当初は退院促進支援事業として某地域活動支援センターが相模原市の委託を受けて取り組んでいましたが遅延として進みませんでした。自立支援員が退院準備のお手伝いをしていました。

その後、地域移行支援事業に変わり地域移行支援員が退院準備のお手伝いをしました。いずれ両者にしても目をみはる様な結果につながった記憶はありません。それで今回の『地域包括ケアシステムの講築』です。講築を進めるための保健・医療・福祉関係者による協議の場の取り組みとして

1、 地域包括システムの講築推進連絡会議

2、 障害者自立支援協議会

の2つ推進します。

いろいろと取組まれていますが要は当事者本人が、どんなお考えなのか……。各家庭によってもいろいろなご事情をかかえています。誰も入院など……。ましてや長期入院などのぞんでいないでしょう……。地域に行くのであれば一人一人に適応したプランであってほしい……。『一番苦しんだ人が一番幸せになる権利があるのです。』

《全国障害者による書道・写真コンテスト結果報告》

今年度習字で3件応募参加致しましたが、残念ながら入賞いたしませんでした。来年度に期待いたしましょう。

《相模原市障害者作品展》

2年間コロナの影響で作品展が中止になり、今年、何とか開催することに決まり12月3日(金)午後から会場作りから始まり、相身連各団体や市内の障害関係団体から作品搬入、そして作品展示へと関係者の皆さんの協力で、作品展示会場が出来上がりました。4日(土)9時30分から障害関係者らが見学に見え、10時前に本村賢太郎市長が見学に訪れて約50分位、皆さんの作品に興味深く見て質問されていました。11時過ぎに寺田弘子市議会議員も作品を一つ一つ熱心に見ては出展者らと会話していました。

5日(日)も9時30分から始まり前日と同じように障害関係者らの来場が多く見えました。また、県会議員、市会議員の皆さんも見学に来てくれました。あじさい会館が工事中であり来場者が来るのか心配したのですが、2日間、天候にも恵まれ例年と変わらず来場者が来てくれて関係者一同、ほっとして終了することができました。



《事務局たより》

令和4年度定期総会を下記の要領にて開催いたします。

日 時： 令和4年6月5日（日） 10時～12時

会 場： あじさい会館 6階 第1・2展示室

令和3年度冬季受託事業（うどん）販売協力依頼

今年度もご協力をお願いいたします。

- ① チャンポン・皿うどん詰合せN-1（化粧箱入り）は12月10日で販売終了いたしました。
- ② 島原のれん（VS-45）（化粧箱入りうどん） 標準小売価格4,860円➡2,900円
- ③ 島原小町（全粒粉そうめん）ES-33は冬でも「あったかい麺」としても美味しく召し上がっていただける商品です。全粒粉の風味と、独特の食感をお楽しみいただけます。1箱50g×18束¥2,400円です。是非一度ご賞味ください。（下記の写真は調理の一例です）



明太子ととろろのスープ



トマト担々麺

※販売期間：令和3年11月1日～令和4年1月31日

※販売場所：商品お渡し場所 あじさい会館内4階 NPO法人れんきょう事務所

※販売時間：午前10：00～午後4：00（月曜日～金曜日）

※お問合せ：NPO法人れんきょう事務所まで。電話042-755-5282

～（株）クライム社様より新車購入紹介セールのお知らせ～

対象車種：乗用車、ライトバン、RV、トラック

対象メーカー：日産、ホンダ、マツダ、三菱、ダイハツ

新車購入の成約前に必ずNPO法人れんきょう事務所まで連絡をお願いいたします。

❖ご協力いただいた方には、協力手数料をお支払いいたします。

詳細はNPO法人れんきょう事務所まで（042-755-5282）

（新車紹介セールへのご協力をお願いいたします。）

（株）クライム エヌ シーデー会長高橋百利様個人から、再度れんきょうと事務員2名、（株）クライム エヌシーデー、横北友の会様よりご芳志をいただきました。ありがとうございます。

募集
定員 **615名**
申込多数の場合は抽選
(車椅子席あり)
申込締切
令和4年 **1月4日**
<消印有効>

※募集定員は変更となる場合があります

スポーツ講演会

パラアスリートに学ぶ！ チーム道下の“きずな”と金メダル

主催：公益財団法人相模原市スポーツ協会

東京2020パラリンピック
女子マラソン(T12)金メダリスト

道下美里氏(三井住友海上火災保険株式会社)

ガイドランナー

志田淳氏(NEC)

ガイドランナー

青山由佳氏(相模原市役所)

応募方法

1 相模原市スポーツ協会ホームページ

<https://sagamihara-sport.or.jp/>



2 往復はがき：〒252-0236相模原市中央区富士見6-6-23

(公財)相模原市スポーツ協会「スポーツ講演会」係

往信面記入事項●全員の情報(氏名、フリガナ、年齢、市内在住・在勤・在学の有無)

●代表者情報(氏名、住所、電話番号、Eメールアドレス)

※手話通訳・要約筆記・車椅子席・介助が必要な場合の人数

返信面記入事項●代表者住所・氏名

令和4年

1月23日 SUN **入場無料**

午前11時開演

相模女子大学グリーンホール大ホール

お問い合わせ(市スポーツ協会)



TEL. 042-751-5552

URL: <https://sagamihara-sport.or.jp/contact>



共催：相模原市

後援：特定非営利活動法人相模原市障害児者福祉団体連絡協議会・相模原市身体障害者連合会・
株式会社エフエムさがみ (FM HOT 839)

協力：相模原市陸上競技協会

Uni-Voice

